

4. 用紙に独自の名前をつけて使用する

用紙に独自の名前を付けて登録できます。

用紙種類の登録から使用するまでの流れ

用途にあった用紙種類を選び、ユーザー用紙種類として独自の名前を付けて登録し、印刷するまでの流れを説明します。

この章では、「用紙名称」を「ハガキ」と名前をつけて登録し、手差しトレイから印刷する例で説明します。

★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- 本機とお使いのパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。
- RPCS プリンタードライバーで使用できます。
- Windows 2000 以降の OS で使用できます。Windows 2000 より前の OS で使用した場合、ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバーの表示が「普通紙」に置き換わります。
- プリンタードライバーの「設定の保存/呼び出し」機能には対応してません。ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバーの表示が「普通紙」に置き換わります。
- ご使用になっているプリンタードライバーの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバーで文字が正しく表示されない場合があります。
- 英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機操作部の画面の文字が正しく表示されない場合があります。
- ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。

◆「用紙名称」を「ハガキ」として手差しトレイから印刷する場合のステップ 1~4

- 1) Web Image Monitor で、用紙種類に名前をつけて登録します。印刷する際、登録したユーザー用紙種類の名称を、プリンタードライバーで選択すると、用紙種類が自動で選択されます。
「用紙名称」に「ハガキ」と名前をつけ、「用紙種類」は「厚紙2」を選びます。
設定について詳しくは、「用紙種類に名前をつけて登録する」を参照してください。
- 2) Web Image Monitor で、トレイにユーザー用紙種類を設定します
手差しトレイの用紙種類を、「+ハガキ (Custom 1)」に設定します。
設定について詳しくは、「4.3 トレイにユーザー用紙種類を設定する」を参照してください。
- 3) 本機の給紙トレイに使用したい用紙をセットします
手差しトレイに郵便はがきをセットします。
設定について詳しくは、『ハードウェアガイド』「用紙をセットする」を参照してください。

- 4) RPCS プリンタードライバーで、登録した用紙種類に印刷をします
「用紙種類」から「+ハガキ」を選び、印刷します。「用紙種類」として「+ハガキ」を選択することで、郵便はがきを印刷するときに適した厚紙2が自動で設定されることとなります。用途に合った名称をつけることができるので、用紙選択が容易になります。

設定について詳しくは、「登録した用紙種類に印刷をする」を参照してください。

↓ 補足

- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。
- 双方向通信の働く条件に関しては「双方向通信が働く条件」を参照してください。

目 参照

- P.11 「お使いになる前に」
- P.53 「双方向通信が働く条件」
- P.121 「用紙種類に名前をつけて登録する」
- P.123 「トレイにユーザー用紙種類を設定する」
- P.125 「登録した用紙種類に印刷をする」

用紙種類に名前をつけて登録する

Web Image Monitor の管理者モードで設定します。

★重要

- ・英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機操作部の画面の文字が正しく表示されない場合があります。

1 Web ブラウザを起動し、アドレスバーに「http:// (本機のアドレス) /」と入力し、本機にアクセスします。

SSL (暗号化通信) の設定を有効にしている場合、「https:// (本機のアドレス) /」と入力します。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

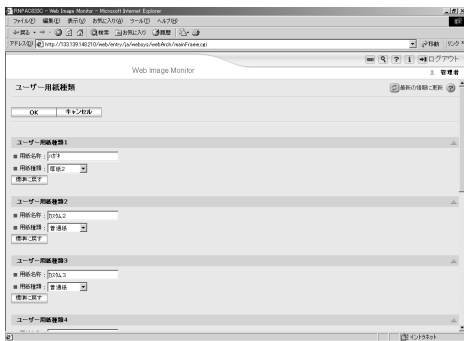
2 Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。 ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

3 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

4 画面左のメニューから [設定] をクリックします。

5 [機器] エリアの [ユーザー用紙種類] をクリックします。



ユーザー用紙種類の設定画面が表示されます。

6 以下の項目を設定します。

郵便はがきに印刷する場合を例にして説明します。

- ・用紙名称：用紙の用途を判別できるような名称を入力します。
「ハガキ」と入力します。
- ・用紙種類：用途にあった用紙の種類をドロップダウンメニューから選びます。
「厚紙2」を選択します。郵便はがきを印刷する場合は、用紙種類として「厚紙2」を設定しておきます。設定が不適切な場合、紙詰まりなどの原因になります。
使用する用紙と用紙種類との関係については、『ハードウェアガイド』「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。

7 [OK] をクリックします。

↓ 補足

- 設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。

📖 参照

- 『ハードウェアガイド』「用紙の種類ごとの注意」

トレイにユーザー用紙種類を設定する

給紙トレイと登録した用紙種類を関連付けます。

印刷する前に、給紙トレイに用紙をセットします。Web Image Monitor、または本機の操作部を使って、トレイにユーザー用紙種類を設定します。

↓ 補足

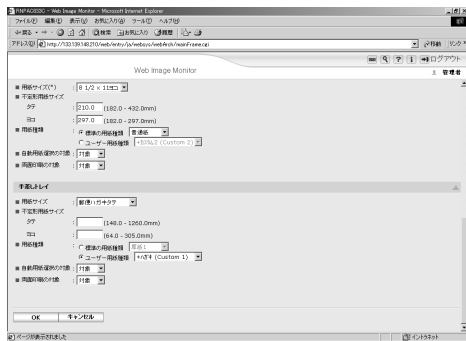
- ・給紙トレイに用紙をセットする方法については、『ハードウェアガイド』「用紙をセットする」を参照してください。
- ・用紙種類を本機の操作部から設定する方法については、『ハードウェアガイド』「給紙トレイの用紙種類を設定する」「手差しトレイ（マルチ）の用紙種類を設定する」を参照してください。

4

Web Image Monitor からトレイの設定をする

Web Image Monitor で給紙トレイへの用紙種類の設定をします。

- 1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスします。
- 2 画面左のメニューから [設定] をクリックします。
- 3 [機器] エリアの [用紙] をクリックします。
- 4 設定したいトレイの用紙種類：をユーザー用紙種類にして、登録しておいた用紙種類の名称を選びます。



先程登録した「ハガキ」は「+ハガキ (Custom 1)」と表示されています。ここでは例として、手差しトレイにユーザー用紙種類「ハガキ」を設定しました。必要に応じてその他の項目を設定します。

- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [ログアウト] をクリックします。
- 7 Web ブラウザを閉じます。

参照

- ・『ハードウェアガイド』「用紙をセットする」
- ・『ハードウェアガイド』「給紙トレイの用紙種類を設定する」「手差しトレイ（マルチ）の用紙種類を設定する」

登録した用紙種類に印刷をする

登録した用紙種類を選択して印刷します。

★重要

- ・RPCS プリンタードライバースで使用できます。
- ・本機とお使いのパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。
- ・Windows 2000 以降の OS で使用できます。Windows 2000 より前の OS で使用した場合、ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバースの表示が「普通紙」に置き換わります。
- ・「設定の保存／呼び出し」機能には対応してません。ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバースの表示が「普通紙」に置き換わります。
- ・ご使用になっているプリンタードライバースの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバースで文字が正しく表示されない場合があります。
- ・ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。

1 印刷する文書に印刷指示をします。

2 プリンタードライバースのプロパティの [基本] タブで、[用紙種類:] から登録しておいた用紙種類を選択します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。

3 印刷の指示をします。

あらかじめ登録しておいた設定で印刷されます。

↓補足

- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバースのヘルプを参照してください。

